

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)リビオ桃園公園北街区 期マンション

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		1.5	0.15	3.3	1.00	3.0
1.1 騒音		2.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル		2.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音		1.0	0.50	3.7	0.50	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	Dr50	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr45以上	3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr45以上	3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		1.8	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	共用部 5.7 住戸部 8.3	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.50	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	JIS規格 F	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.3	0.40	3.2	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性	各住戸に100Mbitクラスのブロードバンド利用環境を整備	3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	外壁タイル、および内部仕上材(共用部)、タイル・外部用長尺シート等を使用しメンテナンスが容易な建物として計画した	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	清掃用具置場、管理倉庫の設置	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	品確法の劣化対策等級3を取得	5.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	ビニルクロスの採用	4.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な上位配管2種(給排水管)にC以上を採用	4.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.0	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	3.0	-	3.2	0.50	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	4.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり	1	階高のゆとり	3.0	-	2.0	0.40	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50	-	-	
	2	自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.8	0.40	-	-	4.8
3.1 設備システムの高効率化	1	潜熱回収瞬間式給湯器の採用	4.8	0.40	-	-	4.8
	2	集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	#VALUE!		-	-	
3.2 集合住宅の評価	1	集合住宅の評価	4.8		-	-	
	2	集合住宅の評価	4.8		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	1	モニタリング	3.0	-	-	-	
	2	運用管理体制	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	1	節水	4.0	0.40	-	-	
	2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減	1	材料使用量の削減	2.0	0.07	-	-	
	2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.25	-	-	
	3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.21	-	-	
	4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.21	-	-	
	5	持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	
	6	部材の再利用可能性向上への取り組み	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.68	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤 (断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止	1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	1	温熱環境悪化の改善	3.0	0.25	-	-	
	2	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
2.4 交通負荷抑制	1	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
	2	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
	2	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	1.00	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制	1	風害の抑制	-	-	-	-	
	2	振動	3.0	0.40	-	-	
3.3 悪臭の防止	1	悪臭の防止	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.4 日照障害の抑制	1	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	2	日照障害の抑制	4.4	0.20	-	-	
3.5 光害の抑制	1	光害の抑制	5.0	0.70	-	-	
	2	光害の抑制	3.0	0.30	-	-	